



ケーブル巻取りマウス 取扱説明書



ケーブル巻取り マウス

最初に ご確認 ください。	▶ 内容	ケーブル巻取りマウス 1台
		取扱説明書 1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 はじめに
対応機種
- 2 接続する前に必ずお読みください。
- 3 マウスの取り扱い
- 4 マウスの接続
- 6 ボタンの特長
トラブルシューティング

はじめに

この度は、ケーブル巻取りマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はケーブル・コネクタをマウス本体内に完全収納できますので、モバイル・携帯用としても威力を発揮します。



対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM Think Padシリーズ
但し、USBポートを持つ機種。
ポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコンでご使用の際は内蔵の
ポインティングデバイスを切り離してご使用ください。
OSはWindows Me、Windows 98 SE/98 及び Windows 2000 に対応。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカー
の登録商標、商標です。

接続する前に必ずお読みください。

USBインターフェースの動作状況を確認

本製品はWindows Me/98等において自動認識され使用可能となります。
もし、正常に動作しない場合、USBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。

下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際

ポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコンで本製品が正常に動作しない場合、パソコン本体の設定ユーティリティで内蔵ポインティングデバイスを使わないよう設定してください。

例) タッチパッドユーティリティ(Alps Glide point, NX PAD, Synaptics Touch Pad)を内蔵したノートパソコンの場合(SONY VAIO ノート、NEC PC98-NX ノートなど)

接続する前に必ずお読みください。

「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「マウス」「Glidepoint」のプロパティを開いてください。

「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンを押してください。

そのまま進み、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し次へ進んでください。

「デバイスドライバの更新ウィザード」が立ち上がったら「すべてのハードウェアを表示」を選択してください。

製造元「Microsoft」、モデルを「MicrosoftPS/2PortMouse」を選択してください。

完了後、再起動し、「Notebooksetup」でタッチパッドを使用しないよう設定してください。

外付けマウスを手順通りインストールしてください。

「マウスウェア」を内蔵している場合は、アプリケーションの追加と削除で「マウスウェア」を削除し、内蔵ポインティングデバイスが「標準PS/2マウス」ドライバで動作している状態でインストール作業を始めてください。

尚、詳細な設定については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

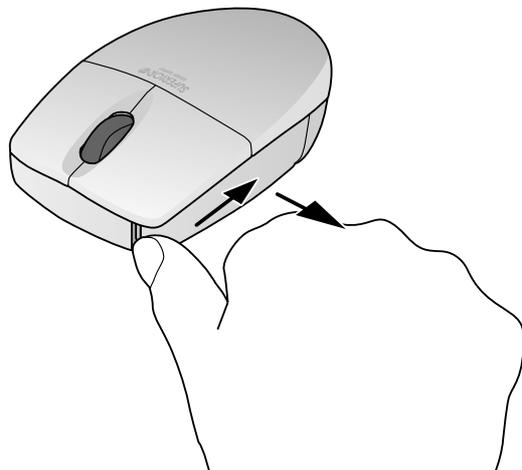
マウスの取り扱い

ケーブル・コネクタの引き出し方法

マウス本体の収納カバー開口部を押しながら収納カバーを開き、コネクタ・ケーブルを引き出します。

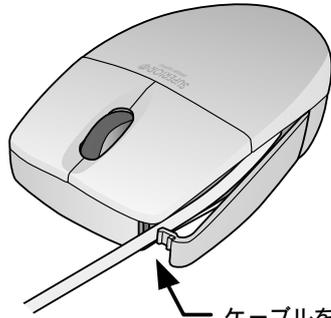
注意:収納カバーは45°以上開かないでください。

ケーブルを引き出す際、ケーブルにラインマーカーが付いていますので、それ以上は引き出さないでください。



マウスの取り扱い

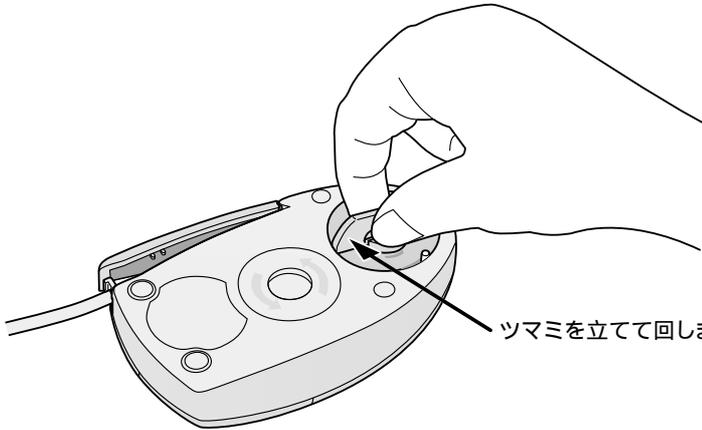
ケーブルを収納カバー下の溝に合わせて、収納カバーを閉じます。



ケーブルを通し穴に合わせてください。

ケーブル・コネクタの収納方法

マウス本体裏面のケーブル巻取りアタッチメントを使って、ケーブル・コネクタをマウス本体内に完全に収納し収納カバーを閉じます。

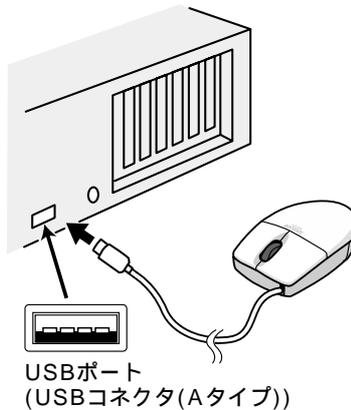


つまみを立てて回します。

マウスの接続

重要: マウスを接続及びドライバソフトをインストールする前に他のアプリケーション等はずしておくことをお勧めします。

本製品はUSBインターフェイスに対応したマウスですので、接続は次のように行います。
接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。



マウスの接続

- 1) コンピュータの電源を入れ、Windows Me/98等を起動させます。
- 2) 本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- 3) 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
- 4) あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ



検索方法を選択してください。
• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れずに ----- 次へ
もし検索場所を聞いてきたら
✓ 検索場所の設定(L)

C:¥WINDOWS¥INF

もしくは、C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

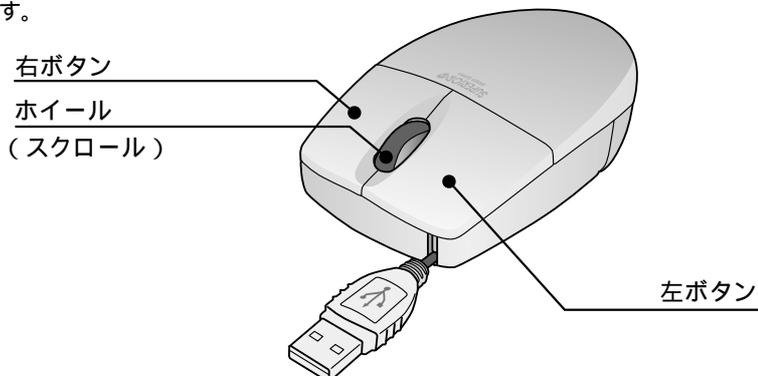


USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

Windows 2000では、上記インストール方法と多少異なります。

ボタンの特長

これでマウスは使えるようになりました。
Windowsが標準で持っているマウスドライバでスクロールもご使用になれます。



左ボタン

左ボタンは一般的なマウスボタンと同じ仕様です。例えば、クリック、ダブルクリックなど。

右ボタン

右ボタンは一般的なマウスのショートカットと同じ働きをします。

スクロール(ホイール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

ボタン機能はありません。

トラブルシューティング

Q.Windows Me/98等でスクロール機能を使えない。

- A. 1. ケーブル巻取りマウスがきちんと接続されているかどうかを確認してください。
2. ポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコンでご使用の場合は、内蔵ポインティングデバイスをBIOS上から切り離してご使用ください。(詳細な設定についてはパソコンマニュアルをご参照ください。)

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A. 1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーではCPUからデータを伝えるのに時間がかかるので、これで、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

Q.しばらく使用していたら、マウスアイコンの動きが悪くなった。

- A. マウスは非常にデリケートです。ローラー・ボールに知らぬ間にホコリやゴミが付着し、動きが悪くなるばかりでなく、故障の原因になることもあります。定期的(月に1回程度)にクリーニングをおすすめします。クリーニングには弊社製 CD-46、CD-43、CD-MS40をおすすめします。